

〔A〕次の傍線部の意味として最も適当なものを選び、番号で答えよ。

- 1 恋愛を語ろうとする時だけは、少なからず通俗的でまた感傷的であった。〔井伏鱒二〕「たま虫を見る」
 ①野卑で品位を欠いているさま ②謙虚でひかえ目なさま ③気弱で見た目を気にするさま
 ④素朴で面白みがないさま ⑤平凡でありきたりなさ
- 2 やがて東西対立の冷戦構造を瓦解させることになったのは彼女らであり、ときにはまちがいだらけの英語の文句の印刷されたTシャツを世界中に氾濫させたのも彼女らだった。〔管啓次郎〕『コヨーテ読書』
 ①すつきりと整理すること ②ばらばらに崩すこと
 ③とつぜん停止させること ④あとかたもなく消し去ること
- 3 ものの表面を覆い尽くすその稠密性によって威を発することを目的に生まれてきたのであるから、〔原研哉〕「シンプルはいつ生まれたのか」
 ①非の打ち所がない ②立錐の余地もない ③とりつく島もない ④言を俟たない
- 4 この明治社会を「獣の世」として喝破した同時代人がいた。〔井手英策・松沢裕作〕「分断社会の原風景」
 ①誤った説を退け、真実を称讃すること ②誤った説を論破し、真実を解き明かすこと
 ③誤った説の問題点を証明すること ④誤った説を非難し、退けること
 ⑤誤った説を論難し、否定すること
- 5 子どもの自分にとつては、書物はお話以前のモノとしての魅力に満ち、触覚的で可塑的なオブジェでもあったのだ。〔紅野謙介〕『書物の近代―メディアの文学史』
 ①いろいろな使い道がある ②関心を呼び起こすことができる ③本来の用法と異なってもよい
 ④期待を実現させることができる ⑤柔軟に変形させることができる
- 6 これが講談落語の速記本の嚆矢であろうと思われるが、その当時には珍しいので非常に流行した。〔岡本綺堂〕『岡本綺堂随筆集』
 ①いただき ②しめくり ③はやりもの ④なかつぎ ⑤はじまり
- 7 牛尾大六は辟易し、ぐあい悪そうに後退し、そこでなんとなくおじぎをして、ひらりと外へ去っていった。〔山本周五郎〕『雨あがる』
 ①気分を害し ②責任を感じ ③恥じ入り ④ふるえあがり ⑤勢いにおされ
- 8 社会という全体の軌跡は、その構成員という要素の意識や行為に対して齟齬を起す。〔小坂井敏晶〕『責任という虚構』
 ①変質 ②対立 ③影響 ④ばらつき ⑤食い違い

〔B〕次の語と類似した意味の語を選び、番号で答えよ。

- 9 算段
 ①暗算 ②準備 ③勘定 ④工面
- 10 矛盾
 ①融通 ②対極 ③拮抗 ④撞着 ⑤無双

〔C〕次の語の対義語を選び、番号で答えよ。

- 11 模倣
 ①改革 ②建設 ③真似 ④想像 ⑤創造
- 12 顕在
 ①潜在 ②遍在 ③内在 ④偏在

〔D〕次の語の対義語を答えよ。

- 13 虚偽 13
- 14 具体 14
- 15 原則 15

〔E〕対義語を組み合わせて二字熟語を作る時、□に適当な漢字を入れよ。

- 16 □急 16
- 17 任□ 17

【熟語①】 国語頻出問題1200四訂版 P50～P75

- 1 (⑤) (第2章・89)
- 2 (②) (第2章・41)
- 3 (②) (第2章・87)
- 4 (②) (第2章・45)
- 5 (⑤) (第2章・42)
- 6 (⑤) (第2章・56)
- 7 (⑤) (第2章・108)
- 8 (⑤) (第2章・82)
- 9 (④) (第2章・30)
- 10 (④) (第2章・27)
- 11 (⑤) (第2章・17)
- 12 (①) (第2章・13)
- 13 (真実) (第2章・22)
- 14 (抽象) (第2章・18)
- 15 (例外) (第2章・19)
- 16 (緩) (第2章・23)
- 17 (免) (第2章・23)